# 移動販売車・移動金融車



販売車「走るAコープ 笑味ちゃん号」移動金 皆様の近くにお伺いして

地

域

**の** 

活

性

組合員

# みんな!おいで祭り



営農塾生の野菜

中央高校の生徒達にも協力していただき大盛況の中、JA や農業を身近に感じてもらう機会となっています。

## 婚活パーティー



次の世代まで農業が続け られるように、農業後継 者の皆様に出会いの場を 提供する婚活パーティーを 開催しています。毎年多く の参加者が集まりカップル も多く誕生しています。

# 食農教育・ちゃぐりんスクール



これからの日本の将来を 担う子供たちに農業の生 食に関する様々な体験を 通じて「食」や「農」へ の関心・理解を深める活 動にも取り組んでいます。

### 農畜産物消費拡大運動





霧島商工会議所 と「地元で食べ る。地元を食べ 店街とも連携し

農畜産物の消費

た運動に取り組んでいます。「おにぎり大作戦」ではお にぎりを食べて、農家の事、地元農畜産物の事を考え る機会としています。

# 組合員•認定 農業者の皆様 とJA役職員 との語る会



組合員・認定農業者の皆様に JA 自己改革の取り組み説 明と、取り組みに対する評価・意見要望をお聞きする機会 として、9~10月と1~2月の2回、全地区で開催致しま した。述べ414名の方に出席していただき、160件の意 見要望を賜りました。皆様から頂いた意見要望につきまし ては、今後の事業運営に反映させて参ります。

เ⇔ื่หืаระん

# JAあいらの自己改革

〈平成30年度 重点取組み〉



- 2. 収入拡大・コスト抑制対策
- 3. 組合員の結集力強化対策



公式LINE

JA あいらでは、第9次中期3か年計画を自己改革プランと位置づけ、「農業者の所得増大」「農業生産 の拡大」「地域の活性化」に向けて、様々な取り組みを展開しておりますが、平成30年度は、自己改革 の最終年度となることから、自己改革プランの一部見直しと重点化を図り、自己改革を加速しながら、組 合員・地域住民に評価され、目に見える成果を実現すべく取組みを進めてまいります。

これからも組合員の皆様の負託にお応えできるよう、一生懸命努力してまいります。さらなるご支援、 叱咤激励を宜しくお願い致します。

# JAあいら自己改革への挑戦

~みなさまとのお約束~



平成30年3月





届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼 JA あいら

# JAあいら自己改革への挑戦

~みなさまとのお約束~

### 自己改革(JA改革)の全体イメージ

### 3つの 基本目標

**ത** 所

の 拡大

Ö 活性化

# JA改革

自らの創意工夫と経営判断に基づき 農業・地域の発展に貢献

#### JAあいらの取り組み

#### 組合員の多様なニーズに応える 事業方式への転換の加速化

●担い手とJAの創意工夫ある販売を拡大 ●生産資材価格の引き下げと低コスト生産技術の確立・普及

#### 担い手の育成を強化

- ●地域営農ビジョンに基づく担い手育成に向けた取り組み
- ●担い手経営体に対する担い手・法人サポートセンター北薩事務 所ならびに農業経営支援部の個別対応による高度な総合支援 ●営農指導員等の育成強化と専門能力の向上、適正人員の

#### JAの業務執行体制(ガバナンス)を強化

●担い手経営体、多様化する組合員・女性によるJA事業への 意思反映を強化し、意思決定を迅速化

#### 農業と地域のために全力を尽くす

- ●「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としてJA が今後果たしていくべき役割と基本方向
- ●今後に役割が高まる農業振興と地域振興が一体となった
- ●農業者と地域住民が求める機能の継続発揮に向けた組合 員制度のあり方

#### 連合会の取り組み

JAの取り組みを

#### JAへの支援・補完機能を強化

「農業所得増大・地域活性化 応援プログラム

●新規就農者、担い手を支

●6次産業化 ●輸出

# 全農•経済連

#### ●プロダクトアウトから マーケットインへの転換

# 信用·共済事業

■事務合理化・効率化を通 じたJAの事務負担軽減

JA グループは、食と農を基軸に地域に根 ざした協同組合として、組合員・役職員が一 体となり、農業振興・地域の活性化につなが る事業や活動に取り組んでいます。

ここ数年、JA グループは信用・共済事業 に力を入れ、農業振興や農業者の所得増大 をおろそかにしているといった事実に基づか ない批判によって、政府やその諮問機関であ る規制改革推進会議から組織の改編につな がる改革を迫られています。

平成28年4月には、農協法が改正され、 JA グループには、「農業所得の増大に最大限 の配慮し「組合員と役職員との徹底した話し 合い」「計画の具体化・数値の実現」が求め られており、その実施状況は、農水省が調 査等を通じて把握することとなっています。

JA あいらでは、平成 28 年に第9次中期 3か年計画を策定し、「農業者の所得増大」「農 業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした 自己改革に取り組んでいます。

役職員が自己改革への理解を深め、さら に取組みを強化することで組合員のみなさま から真に評価される JA となることをお約束 します。

# JAあいら自己改革の基本方針〈平成28年度~30年度〉

JA あいらでは、第9次中期3か年計画を自己改革プランと位置づけ、以下の方針で取組 みを進めています。

- 1.組合員農家とともに、強い地域農業を創り、食料 自給率の向上に貢献します。
  - (1)農業づくり

(2)くらしづくり

2. 組合員・地域との結びつき・きずなを強化します。

(3)ファンづくり



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化



JAあいらから3つの区に出品し、第6区高等登録郡(母牛、 娘牛、孫娘牛の3代に渡る改良結果を審査)で優等賞1席農 林水産大臣賞を受賞するなど、日本一に大きく貢献しました。 2022年地元霧島市で開催される第12回全国和牛能力共進 会に向けて更なる和牛能力向上を図り、日本一を目指します。

## 農業生産資材価格の引き下げ

配送コストを価格に折り 込む取組みとして、直送 値引きの実施や集合販売 による価格引き下げに取り 組みました。また、入札に よる一括仕入れの拡大や、 大型規格・推奨品目の設 定、競合店との価格差を 調整しながら組合員に1円 でも安く供給できる取組 みを加速させています。

営農塾・専門塾の取組み

農業に親しんでもら

う営農塾と就農者

の育成支援を目指

す専門塾の2つの

講座を開講していま

す。営農指導員が

講師を務め、「農」

にふれあえる機会と

定年帰農者、兼業

希望者などを確保す

ることで、農業生産

基盤の維持、共販

品目への規模拡大 を見据えています。



# 築地市場関係者との意見交換

の

(J



市場(消費者)のもとめる野 菜の情報収集と管内で生産さ れる野菜の販路拡大を目的に 築地市場の野菜部会関係者を 招いて意見交換会を開催しま した。市場ニーズに合わせた 生産と販売促進に取り組み、 管内野菜の販売先拡大と1円 でも高く売る取組みを進めて いきます。

## 全国茶品評会を産地賞受賞



10 キロの部において、3年ぶ りに霧島市が産地賞に返り咲き ました。個人の部でも管内から 農林水産省生産局長賞を2名 受賞し、産地賞受賞に大きく 貢献しました。これからも管内 の霧島茶・湧水茶のブランド確

# 連携協定の締結



JAあいらでは、霧 島市・第一工業大学 との連携協定に加え、 H29.9.1 霧島商工会 議所と連携協定【鹿 児島県内初】を締結 しました。地域社会 の発展と産業振興に 寄与する目的や農業 者と商工業者のマッ チングなど、今後6 次産業化の取組みを 関係機関と一緒に取 組んでいきます。

繁殖基盤の維持・拡 大を図る目的で、増 頭運動に取組んでい る各地区の肉用牛振 興会に助成金を支出 しています。助成金 を活用した研修活動 を通じて、飼養技術 の向上により、1頭 でも多く増頭が図ら れるよう取り組んで

# 地域営農ビジョンの取組み



大切な地域や農 業、農地を守り、 次世代へ継承して いくため、地域農 業の将来像を自ら 描く「地域営農ビ ジョン」を策定し、 品目・地域毎にビ

ジョン品目を定め、多様な農家が力を合わせて、地域農業 を支えていく事を目指しています。品目毎に栽培講習会を開 催しながら、生産者への支援・拡大にも取り組んでいます。

# 十三塚原広域集荷場



目の一つでもある南 担の軽減を図る事で 生産の拡大に繋げて もらい、1円でも高く 売り1円でも多く所得 に反映できるよう取り 組みを加速させます。